

Safe Volu

(Former First Aid)

静岡県赤十字安全奉仕団機関紙 No.50 記念号 平成18年6月1日発行

「Safe Volu」が第50号を迎えました！！

～記念すべき50号に支部事務局長の想いが寄せられました～

平成14年5月1日に「**First Aid**」として創刊した機関紙が、今月で第50号を発刊するに至りました。4年強の間、多くの皆さんに御協力をいただき、記念すべき50号を迎えることができました。途中で団の発展的移行に伴い、「**Safe Volu**」と改名し現在に至っていますが、平成16年10月25日には、台風22号関連の被災に伴う復旧ボランティアの報告に関して、「号外」を発刊したことも記憶しているところです。

今回の記念号発刊につき、支部事務局長 矢崎彬雄氏から、御挨拶と本機関紙に関する想いをお寄せいただきましたので紹介いたします。

「皆様には、日ごろ安全奉仕団員として赤十字事業推進にご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。ご承知のとおり安全奉仕団は、これまでの救急奉仕団を発展的に解消し、昨年5月に新たな奉仕団として再出発されました。この間、奉仕団として多くの情報を発信してまいりましたこの機関紙も、平成14年5月に創刊（当時救急奉仕団）以来50号となりました。奉仕団の活動を広く知っていただき、他の奉仕団等横のつながりを広げ、赤十字活動の発展に寄与することを目的とした機関紙らしく、必要な記事が簡潔にまとめられており、毎回興味を持って拝見しております。今後も奉仕団活動の情報源として、またより一層の赤十字活動発展のため、引き続き発行を継続されますことを願っております。

結びに皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げますとともに、赤十字に対する更なるご支援ご協力をお願い申し上げます、お礼の言葉といたします。」

今回の記念号発刊に伴い、過去に発刊済みの全ての機関紙を印刷し一冊の記念誌としてまとめ、本社、各支部、県内赤十字施設、地区区分等に配付をしていきます。「機関紙・広報部会」から、印刷・製本・発送等での御協力をお願いする予定ですので、よろしく願いいたします。

「平成18年度定期総会」が開催されました

～「人道」の下、社会安全に奉仕する活動を積極的に進めていきます～

5月27日支部において「平成18年度定期総会」が開催され、全ての上程議案が可決・承認されました。また、審議事項後の「記念講演」はたいへん好評で、終始演者のステキな人柄に引きつけられた講演でした。承認された内容は、支部ホームページの「お知らせ」欄で紹介していきます。今年度も昨年度同様「自ら進んで」御協力をお願いいたします。

今月の眼（見た）・耳（聴いた）！「噛むことを見直そう～」

日本人の平均寿命は、女性は80歳台、男性は70歳台ですが、歯の寿命は50歳台といわれ、身体と噛む動きの寿命の間にはこんなに大きなギャップがあります。「噛む」ことは、単に歯や顎や筋肉の働きだけで行われるものではなく、神経・脳・筋肉・唾液腺・皮膚感覚器などがまともって、「咀嚼システム」という流れをつくっているということがわかってきました。味覚や触覚など五感が脳を刺激して、その刺激を受け取った脳が噛む運動を命令し、顎の筋肉や舌を動かして食べ物を噛み砕き、唾液と混ぜ合わせて飲み込んでいるのです。

まだまだ研究の余地はありますが、現在のところ「噛む」ことは、唾液成分がガンを予防する・歯を丈夫にする・太ることを防止する・頭部の血行を良くし頭が冴える・頭のマッサージになり抜け毛を防ぐ・老化防止・ボケ防止・自律神経失調症が改善するなどということが、わかっています。老後のためにも、「噛むこと」について見直してみませんか。（機関紙・広報部会）